



2015年3月 おかげさまで
創業40周年を迎えます

2015年3月期 第3四半期決算概要

2015年2月6日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証第一部)

第3四半期 決算ハイライト

国内は第2四半期からのスローが継続しているものの、海外が大きく牽引し、増収増益を確保。中期経営計画「バリュークリエーション15」の達成に向けた重要な一歩となった。

売上	連結	連結売上高は、前年同期比118%、39億円増収の253億円となった。
	日本	自動車や電子部品・半導体は前年並みだったものの、家電・精密機器等が好調で、前年同期比増となった。
	中国	好調な電子部品・半導体に加え、自動車や家電・精密機器も堅調に推移し、前年同期比二桁増となった。
	その他	東南アジアグループの新規連結による東南アジア、欧州での売上拡大で、前年同期比150%となった。
利益		売上増、仕入れコストの低減、工場の稼働アップによる原価率の低減に加え、単体収益体質改革活動の成果もあり、営業利益は前年同期比6.6億円増の14.9億円となった。 同時に、経常利益、四半期純利益も前年同期を大きく上回った。
ネット資金		戦略的な研究開発投資等もあり減少したものの、四半期純利益が大幅に増えたため、期首よりも改善した。

第3四半期 決算概況

売上高及び各段階利益ともに前年同期実績を大きく上回って着地。

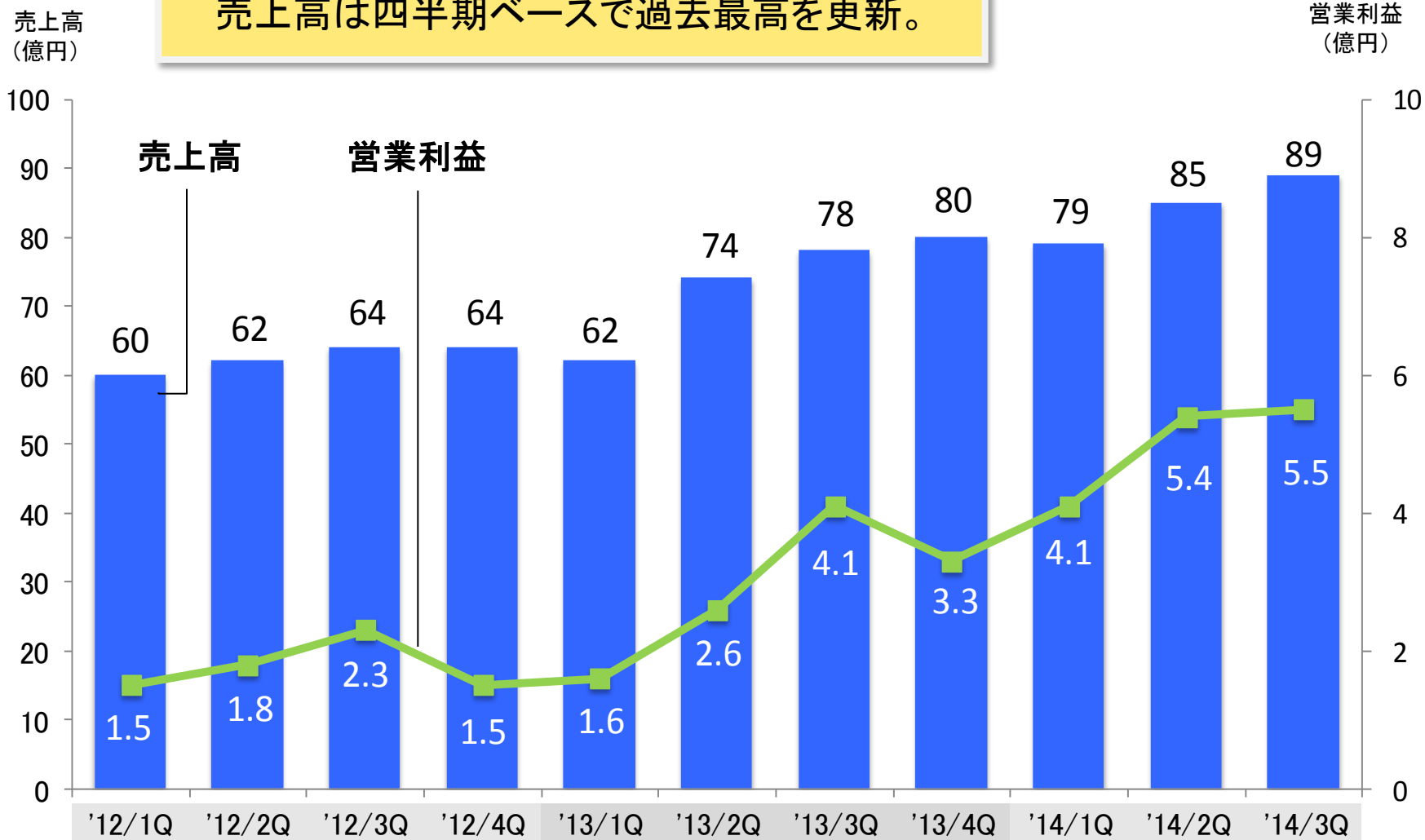
(単位:百万円)

	2014年3月期 第3四半期累計		2015年3月期 第3四半期累計		前年同期差	前年同期比
売上高	21,412		25,315		3,903	118.2%
営業利益	3.9%	831	5.9%	1,496	664	179.9%
経常利益	3.4%	724	5.5%	1,402	677	193.5%
四半期純利益	2.2%	472	4.3%	1,080	608	228.7%



売上高と営業利益の推移

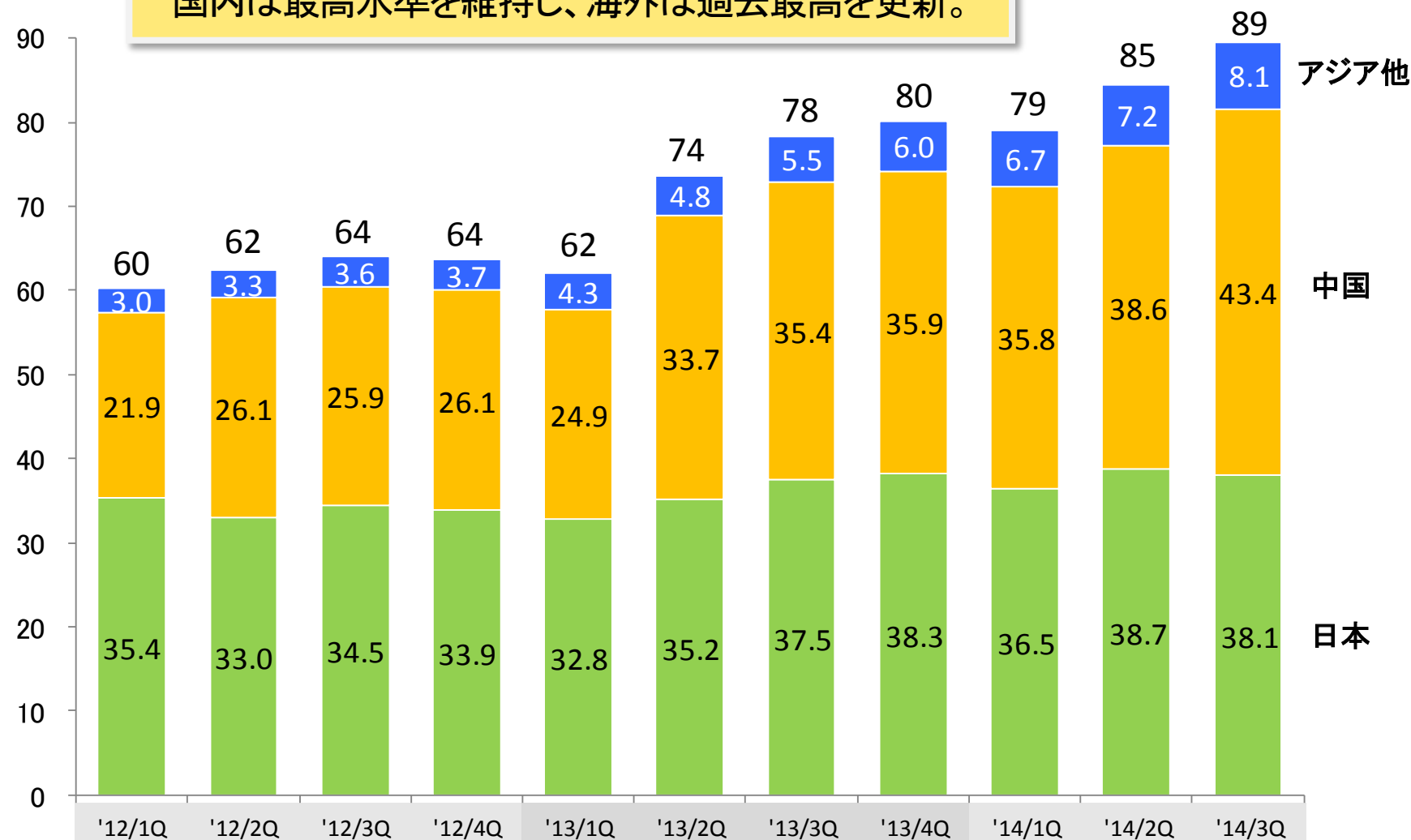
売上高は四半期ベースで過去最高を更新。



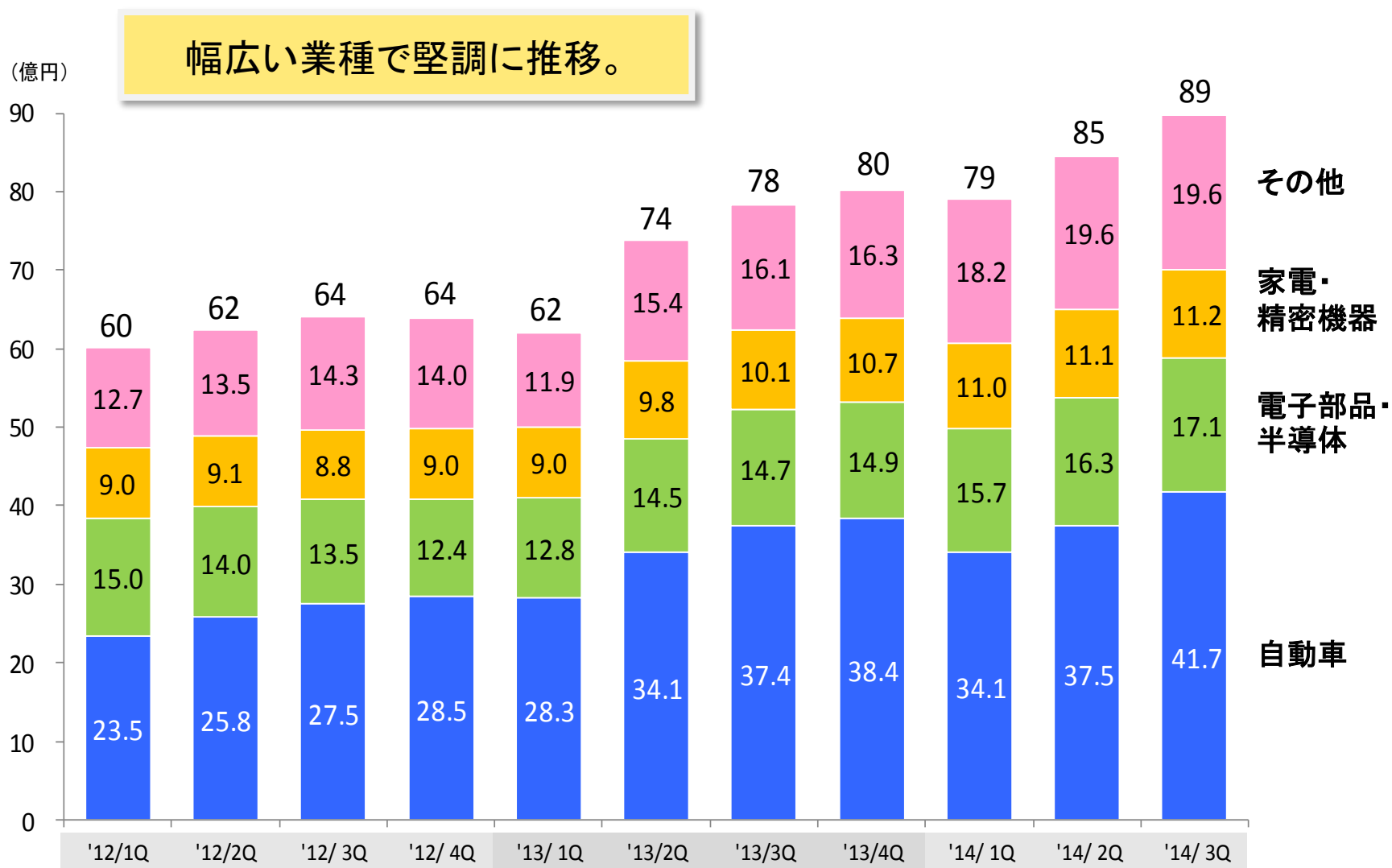
地域別売上高

(億円)

国内は最高水準を維持し、海外は過去最高を更新。



業種別売上高

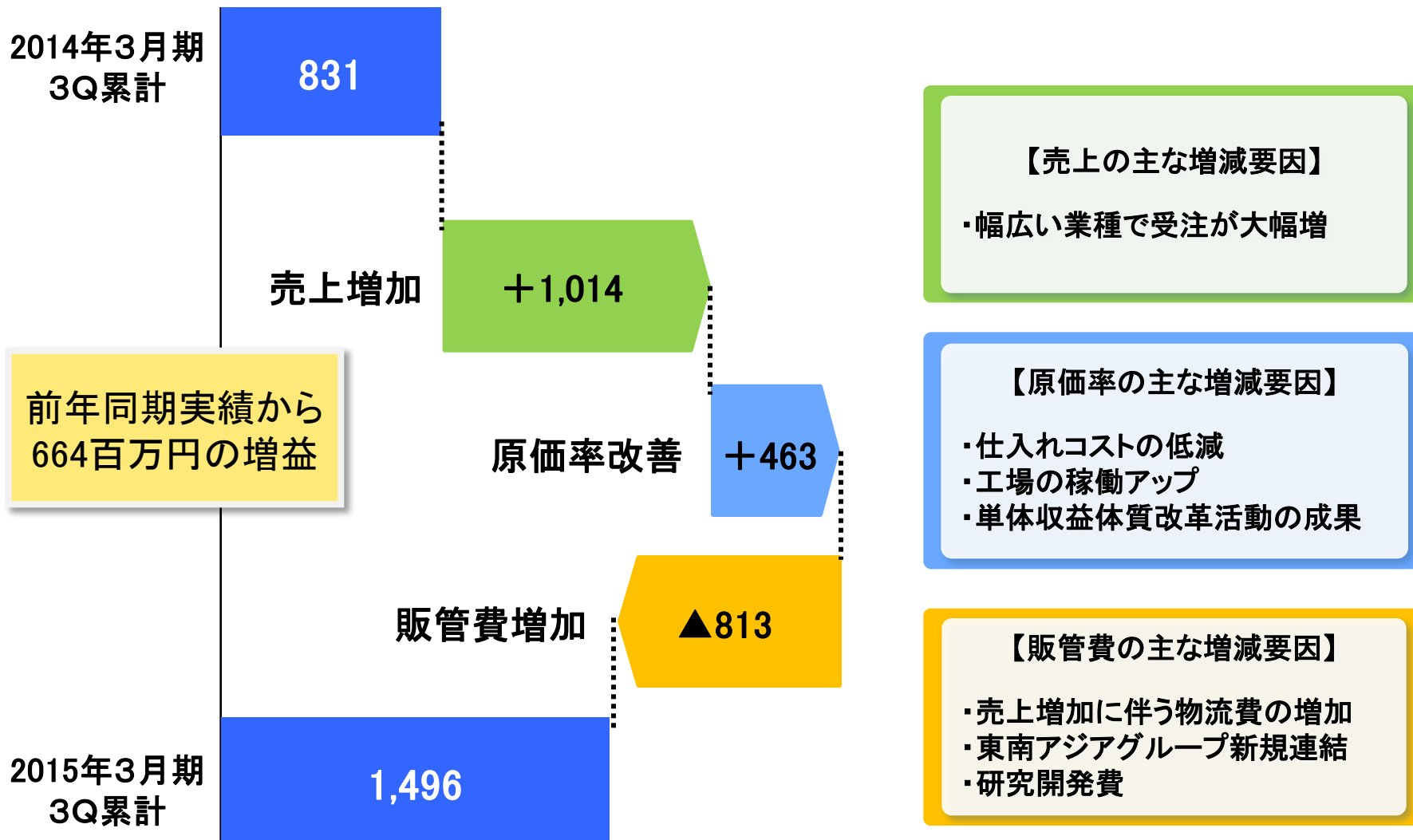


(業種別売上高のグラフは、業種区分見直しに伴い遡及修正をしております。)



営業利益増減

(単位:百万円)



財務状況

(単位:百万円)

	2014年3月期末	2015年3月期 第3四半期末	比較増減
総資産	24,471	26,431	1,959
総負債	15,108	15,787	678
うち有利子負債	7,743	8,060	316
純資産	9,362	10,643	1,280
ネット資金	▲6,216	▲6,173	42
自己資本比率	38.2%	40.2%	2.0ポイント

	2014年3月期 第3四半期累計	2015年3月期 第3四半期累計	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	451	943	492
減価償却費(無形固定資産含む)	863	956	93



2015年3月期 業績及び配当の予想

(単位:百万円)

	2014年3月期 実績	2015年3月期 通期業績予想修正		前年差 (前年比)	修正予想差 (修正予想比)
		2014/8/8 公表	2015/2/6 公表		
売上高	29,436	32,819	34,040	4,603 (115.6%)	1,221 (103.7%)
営業利益	3.9% 1,161	4.9% 1,619	5.0% 1,711	549 (147.3%)	92 (105.7%)
経常利益	3.6% 1,047	4.4% 1,439	4.7% 1,600	552 (152.8%)	161 (111.2%)
当期純利益	2.4% 720	3.2% 1,039	3.3% 1,134	413 (157.3%)	95 (109.1%)
自己資本利益率 (ROE)	9.6%	10.8%	11.3%	1.7ポイント	0.5ポイント

2015年3月期 配当	中間配当金10円を実施	年間配当金20円を予定
----------------	-------------	-------------





2015年3月 おかげさまで
創業40周年を迎えます

参考資料

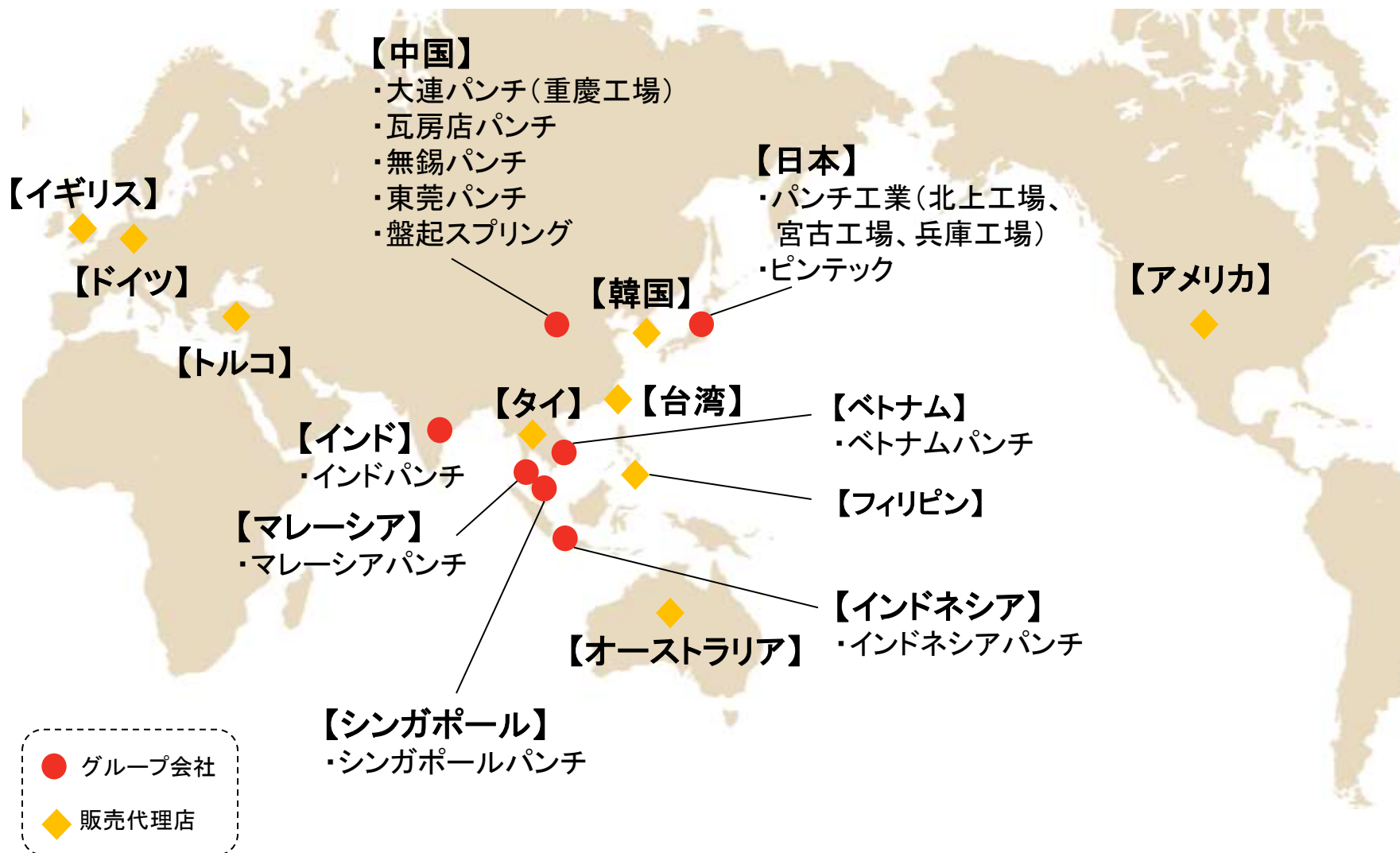
会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都港区港南二丁目12番23号
設立	1975年3月
資本金	15億7,154万円
従業員数	3,810名(グループ連結、2014年12月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弾簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD.(マレーシア・クアラルンプール)※ PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア)

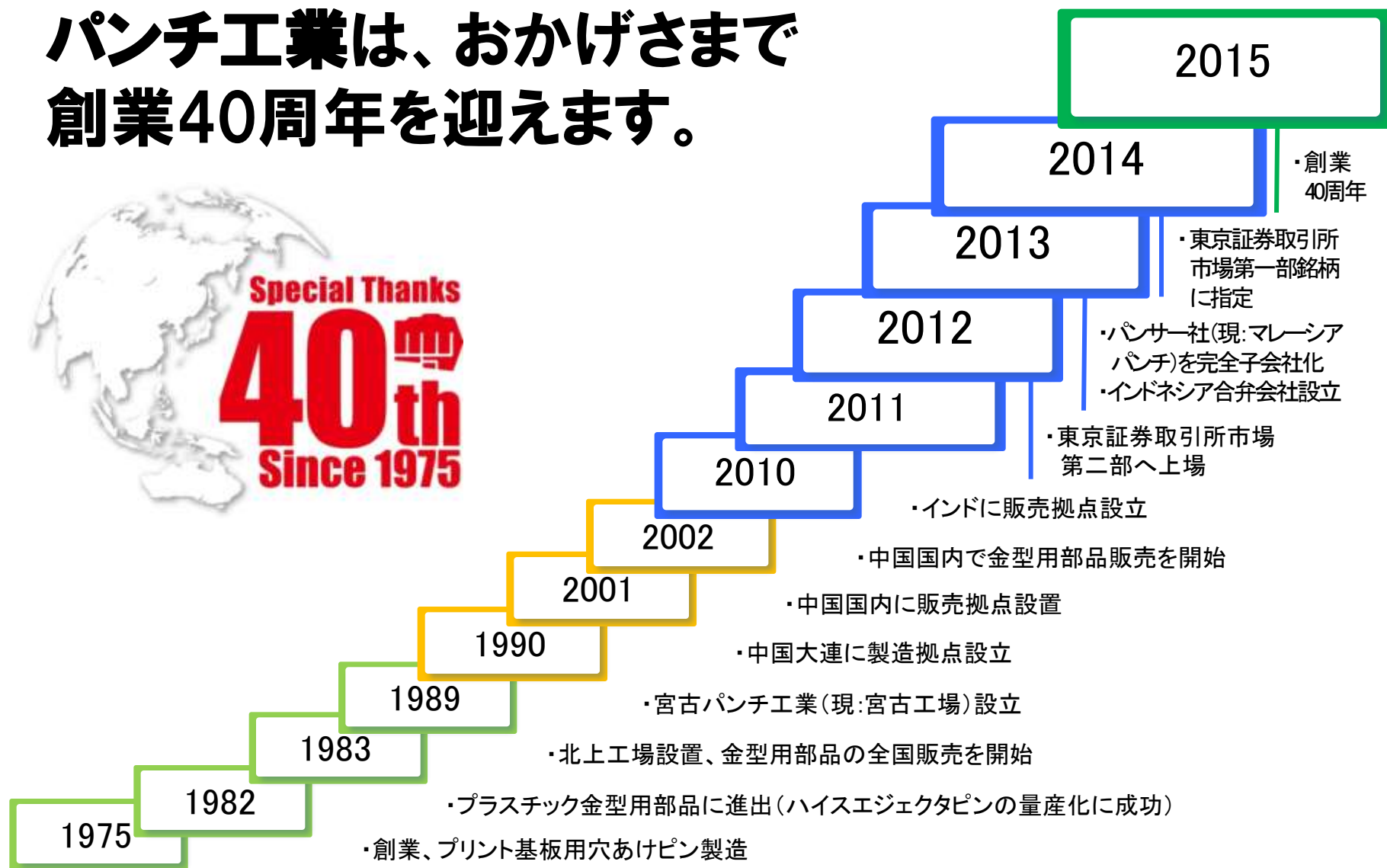
※PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD. は、PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.に事業を移管したため、清算手続中であります。



パンチグループのネットワーク



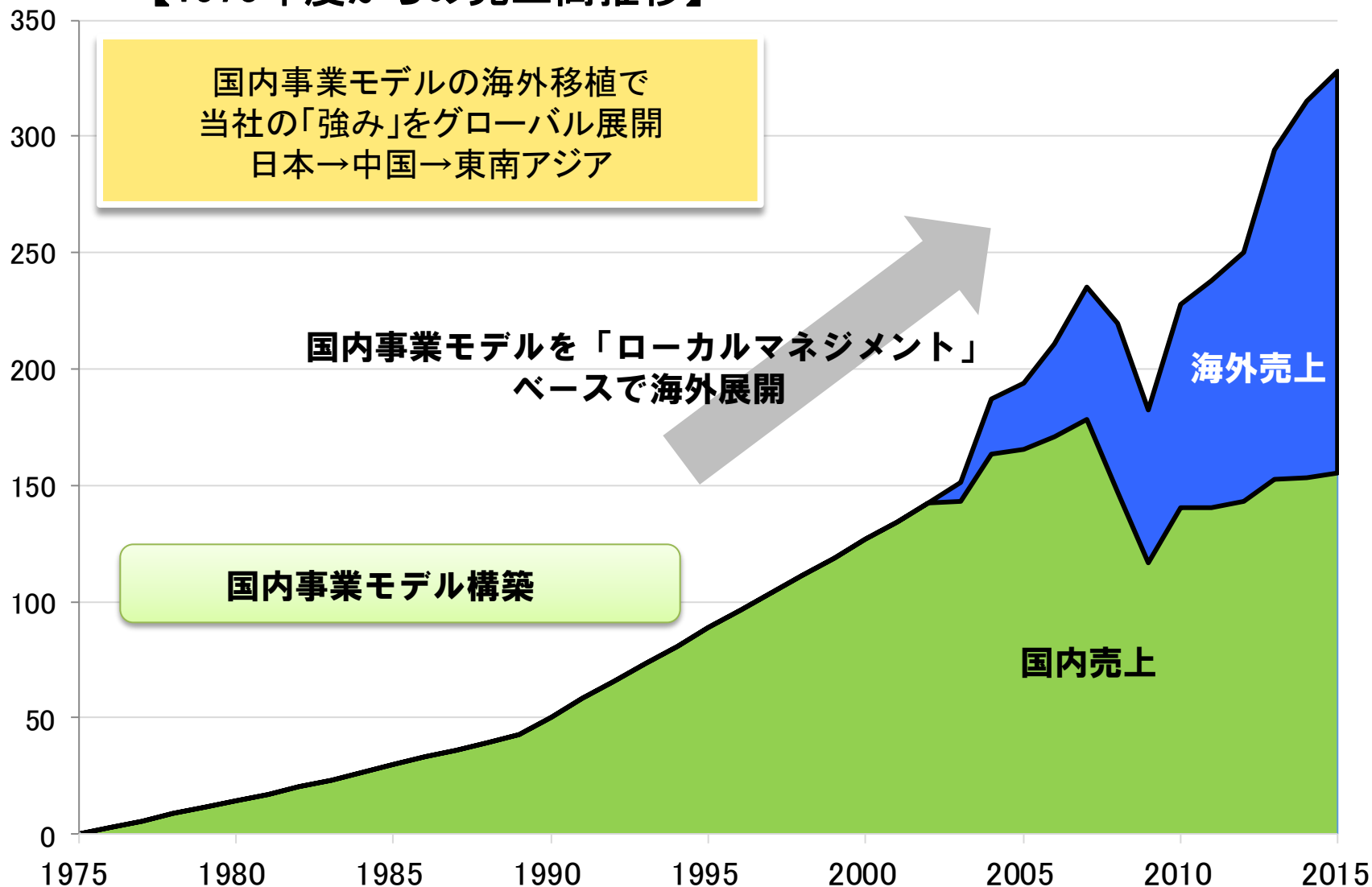
パンチ工業は、おかげさまで 創業40周年を迎えます。



パンチグループの歩み

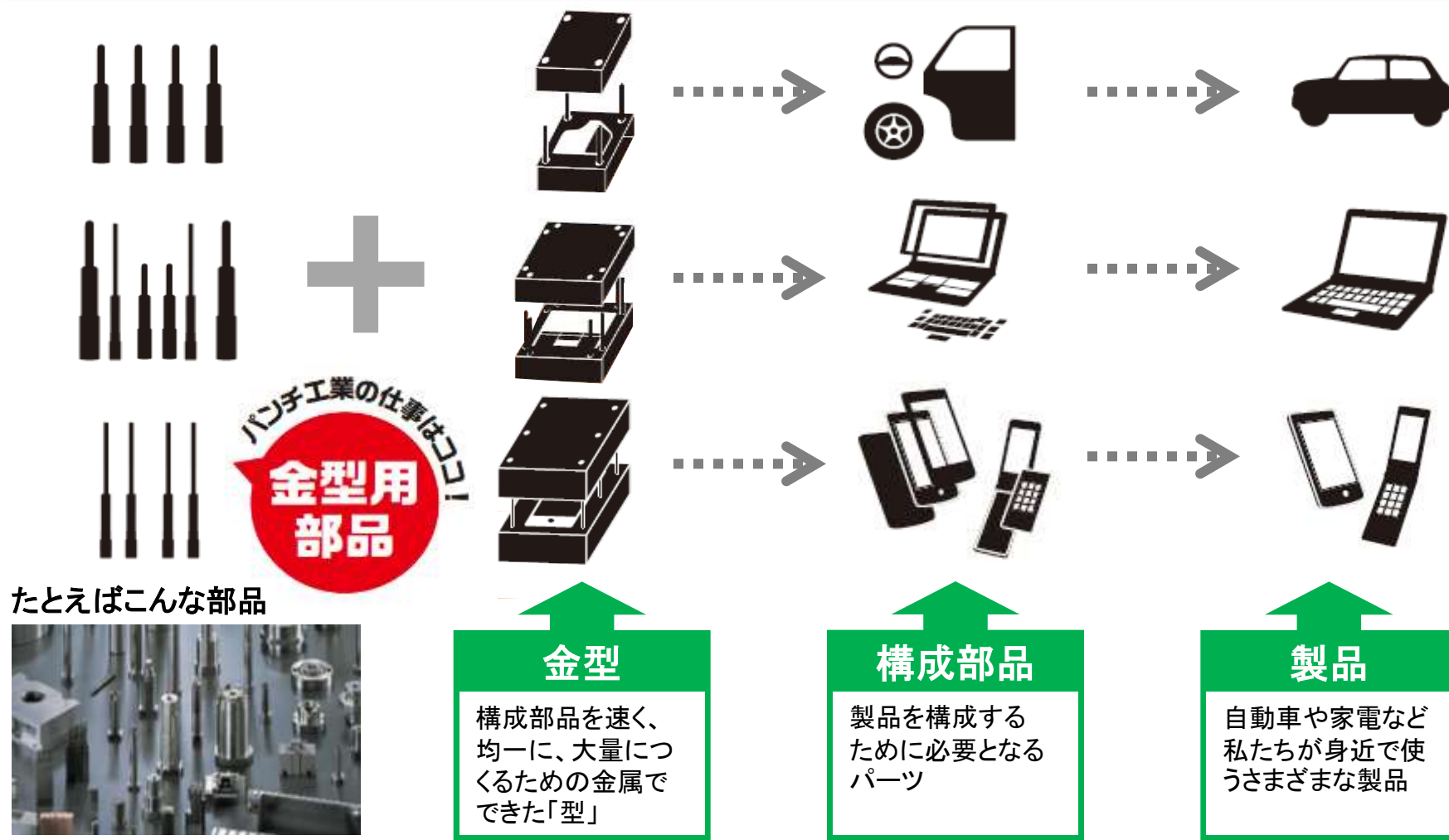
(億円)

【1975年度からの売上高推移】

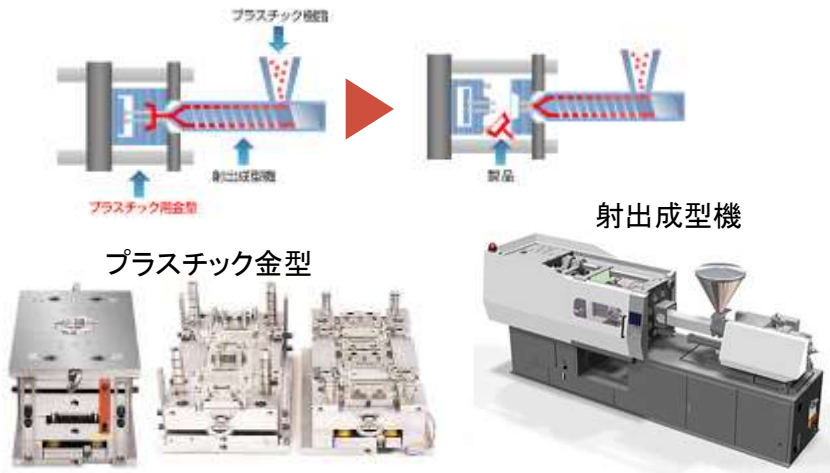


事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売



プラスチック金型と金型用部品



エジェクタピン



スリーブブシュ・ロケットリング

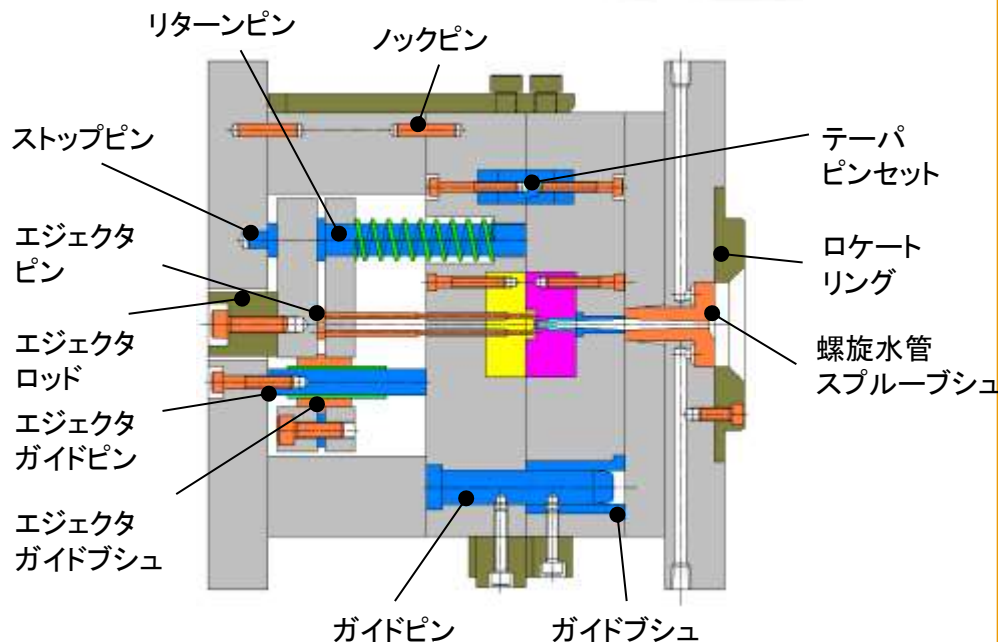
●プラスチック金型用部品について

プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られています。

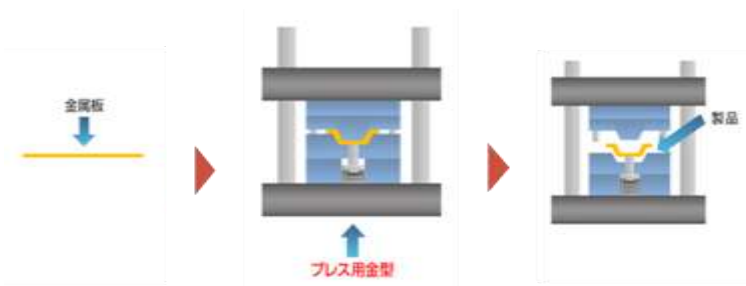
当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スリーブブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

エジェクタピン・・・ 成型品を金型から離し、突き出すための部品

スリーブブシュ・・・ 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品



プレス金型と金型用部品



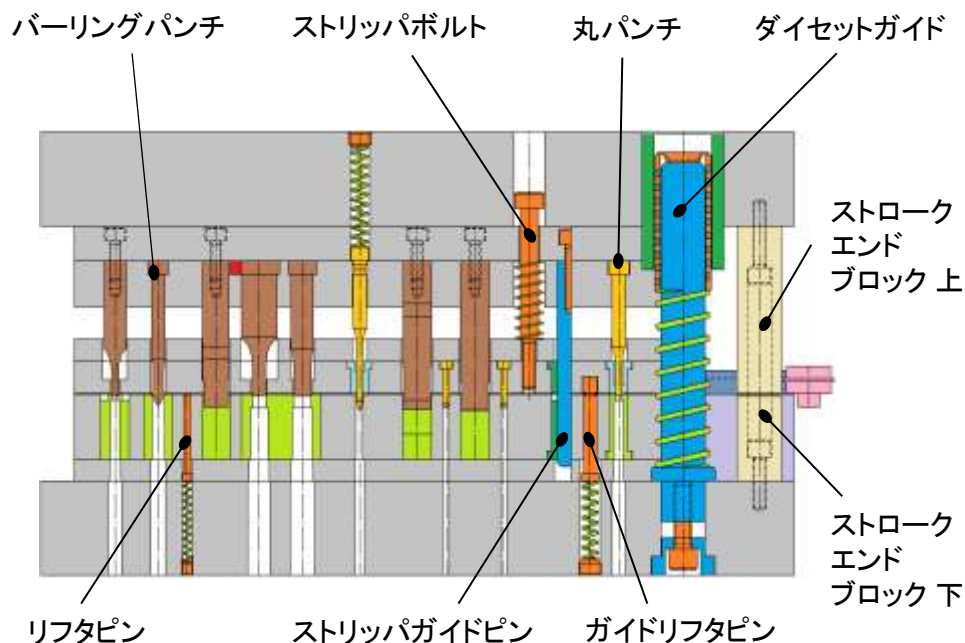
プレス金型



パンチ



ダイセットガイド



●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

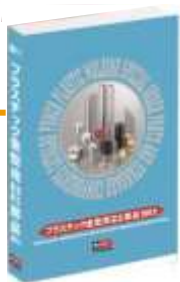
当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用する金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

- | | |
|-----------|---|
| パンチ…………… | パンチは材料に押しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品 |
| ダイセットガイド… | 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品 |



パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供



カタログ品

汎用性の高い標準製品を
豊富にラインナップ

スピーディな
ソリューション

特注品

カスタムニーズにも
柔軟に対応



一気通貫の生産体制

1,700台の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制

きめ細かな対応・提案力

高い技術力

創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発

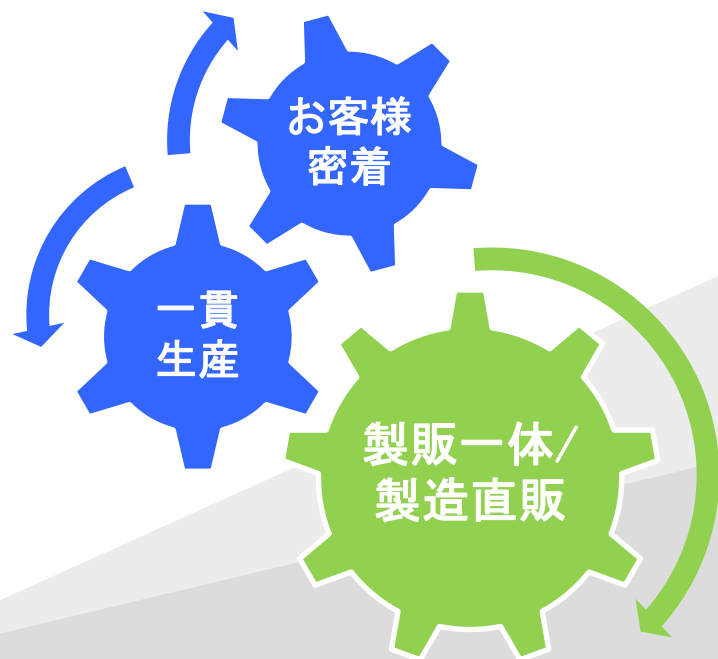


CSR経営と企業ビジョン

CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために
CSR経営を実行しています。

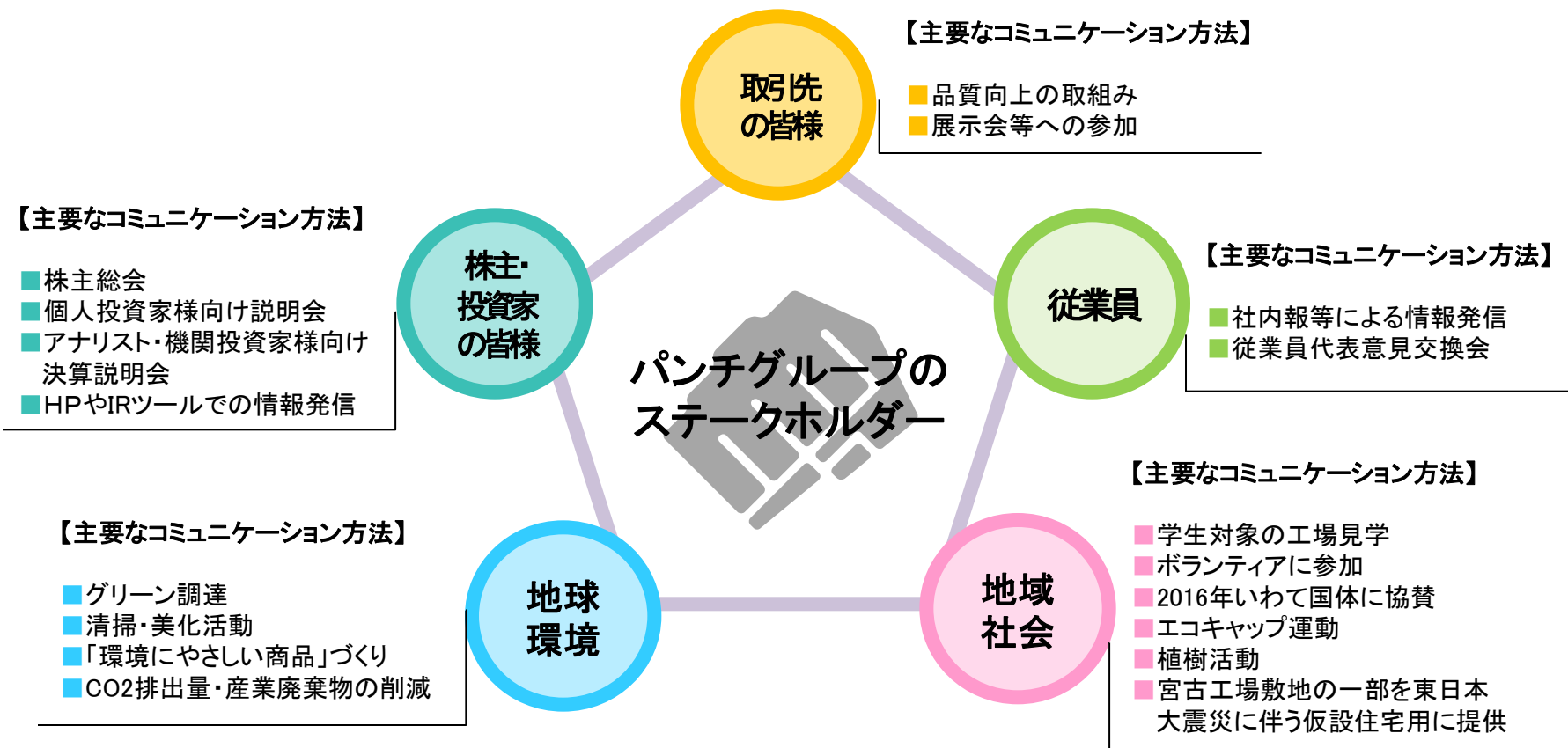
企業ビジョン



世界のパンチへ

金型部品業界での
トップブランドを確立し
製販一体企業としての
優位性を活かした
高収益企業を目指す

ステークホルダーとのコミュニケーション



決算説明会の様子



個人投資家様向け会社説明会の様子



植樹活動の様子



エコキャップ運動

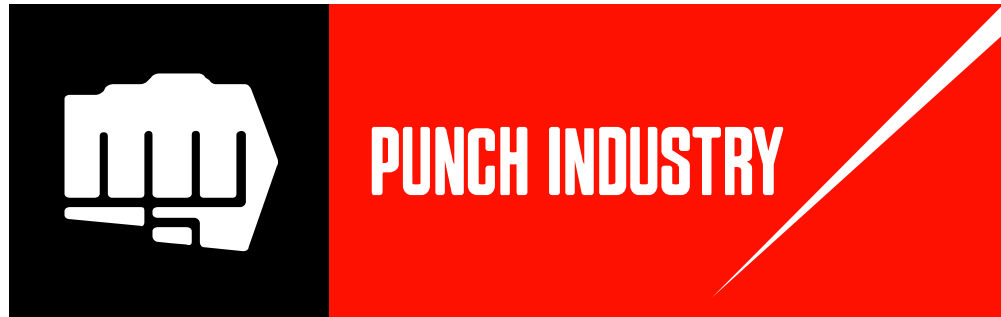


【環境にやさしい】
マーク

本日はありがとうございました。

IRに関するお問い合わせ先

パンチ工業株式会社 総務部コーポレート課
電話: 03-5460-8237 e-mail: info-corp@punch.co.jp



将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。